

## 14 特集 杉山達也 in新潟

天才splasher、新潟ひょうたん池に現る。そして、超高速メーター両ダンゴ炸裂…！  
新潟が生んだ超新星、2007パリバス杯チャンプ・坂井与史との共演で贈る、  
怒濤の超豪華特集！！



2	イントロ 宮城県中田町大手口へら鮒釣り大会
22	石井旭舟 へらぶな浪漫街道 《第五十六回》山梨県・千代田湖
28	小池忠教 激釣の急所 《第八回》浅草へら鮒会 西湖・精進湖例会
34	NEO-HERA Pro League 2007 第二戦【戸面原ダム】
39	中澤岳 フィールド真っ向勝負 《Vol.20》シマノ「野釣り一本勝負！！」
46	伊藤さとし 「将鱗へら スーパープロ Plus」で 状況激変の戸面原ダムを攻略する！！
50	斉藤心也 炎のチョーテン12番対決！！ 《第9戦》vs保科健二 in 隼人大池
58,62	《新企画》早川浩雄「鉄壁・早川スタイル」 《第2回》夏の精進湖、両ダンゴの底釣り
61,66	★AREA REPORT
62,68,71	宮沢湖(埼玉県) 本誌・伊藤洋一
63,69	大浦の池(富山県) 山本一朗、河口正伸
64,70	つつじ池(岐阜県) 後藤 誠
	布目ダム(奈良県) 前田誠志
134	竹とともに生きる。 《第45回》「瑞雲」 米田 譲さん
137	岡田 清 Deep Side Angle 《Vol.43》【三島湖、激流攻略】

143	戸張 誠 関へら戦記2007 【6月例会:富士4湖「錯覚」】【7月例会:戸面原ダム「浅場の誤算」】
148	田辺哲男 MYへら道 《へら道その八》夏は高原の湖で癒されたい! 田貫湖
152	稲毛利夫 崖っぷち釣行! 《第8回》師匠、オデコ星へ帰る!? 竹沼(群馬県藤岡市)
156	吉川ひとみのあっちこっちそっち♡ 激闘編 《Vol.16》ひとपीー、静岡・鯨ヶ池で大暴走!?
160	私の宝物 《Treasure.17》ゲスト:大面俊一さん
193	棚網 久の我流 《第十八回》「釣りの原点!!」 洲の野原(茨城県稲敷市)
201	ギャラリー竿春オープン!&「魂の火入れ」出版記念パーティー
202	北川穂積 西の交友録 《第二十回》ゲスト:山口哲男 釣り場:福寿池(兵庫県)
205	釣り味 《第9回》お好み焼き&創作料理「とんぼ」の【モダン焼き&ベビースター】
206	釣果予想クイズ
208	フィッシングレディ 《今月のレディ》増山千穂さん 隼人大池

### 釣り場割引 クーポン券

p.163~

野田幸手園 椎の木湖  
清遊湖 谷和原大沼  
上尾園 F.A吉羽園  
谷養魚場 将監  
柳生F.P 筑波白水湖  
泉堰 逆井HC  
友部湯崎湖 三和新池  
狭山HC 川越FC  
芦田湖水光園  
鳥羽井沼 大上へら池  
霧の沼 小川つり堀園  
清川つくしFC  
千代田湖・舟宿 千和  
相模湖・釣舟 五宝亭  
相模湖・釣舟 天狗岩  
吉森HC  
甲南へらの池 当麻池  
水瀧FC 朝日池  
釣り堀八十八  
精進湖・釣舟 金風荘  
西湖・釣舟 白根  
西湖・釣舟 丸美  
西湖・釣舟 青木ヶ原  
府中HC

75	へら鮒釣り 超基本講座 《第30回》ベレ宙
79	柴舟 「至連」「世彦」による火入れ・込みサービス!
86	ガチンコ道場 《第21回》超過激!? 裏フィッシングバトル
91	芝学園釣研究部 精進湖夏合宿
92	都祭義晃 カリスマ伝説2007 《Vol.21》~「釣り堀 八十八」のナイターで癒される~
99	江成公隆のトーナメント、復活への道。 《Vol.63》「雨のち晴れ」
106	夢追釣人(ゆめおもうもの) 天野正由 今月の夢、まだまだ超大型を狙うぞ! 芦ノ湖&奥多摩湖
110	水辺のプラネタリウム 吉本亜士 《今月の星空》「元寇防壁」
114	最狂へら戦士養成所“鮒の穴” 漢タカハシ 《第五十五話》北関東支部発、恐怖のママシレポート!!

119	へら鮒を三枚に下ろす 西田美明 《第9回》「ハリスの長短を解析!」
124	水と戯れ、風と遊ぶ ホワイト 《第9回》「夏」快適に釣りを楽しむには…
126	野田幸手園新聞
161	ワクワク管理釣り場情報
170	小売店情報
175	★へら鮒BOX
176	里ちゃんの新米編集長雑記
177	情報発信基地
179	ボイス
187	コラム「日研だより」 日研広報部長・遠藤克己
188	コラム「上村流!」 上村恭生
189	コラム「紀州“想いの竹”のものがたり」 中峯伸行
190	プレゼント発表
191	広告索引
192	編集後記

### STAFF

●発行人  
根本百合子

●編集長  
田中里史

●編集部  
大場勝良  
諸富一秋  
伊藤小百合  
伊藤洋一

●へら鮒NET  
根本大作  
高田 準

●企画  
〈オフィス・えび〉  
藤原 肇

※連載「杉山達也のSUPER SPLASH!」は、  
誌面の都合によりお休みさせていただきます。



この物語は、  
 栄光、そして挫折を味わい、  
 今、再び這い上がろうとする一人の男の人間ドラマである。

# 江成公隆の トーナメント、 復活への道。

text and photo by Kimitaka Enari and Satoshi Tanaka  
 業界初、Web運動企画！〜いよいよ再発刊！ (URL) <http://hesar.yokohamatsurumi.net>

# 「一歩進んで二歩下がる!?!」

〈Vol.63〉

# 「雨のち晴れ」

～第二回ナリーズ杯～

# 「一歩進んで二歩下がる!?!」


- 参加メンバー(順不同 敬称略)
- 岡田 清 萩野孝之 天笠 充 宮田将弘 杉山和由 西澤良純 石井昇一  
 田辺哲男  
 [フォーラム快] 田中雅司 中村英也 小野淳一  
 [Y21CLUB] 伊藤洋一 近藤正祥 花田修一  
 [ACクラブ] 内野裕志 伊藤正光 (へらウキ「水幸作」作者)  
 [チームアイマ] 山倉真吾 角田  
 [オールスター] 水落輝己  
 [青梅野べら会] 加藤クーミン 加藤ミナバ  
 [ファミリークラブ] フナ島 (HP「フナ島だあ!!」大家) 飯田政文  
 [夢中会] 小倉 豊 御園孝之 御園正美 御園富夫 能登浩之 伊藤正一  
 [泉へら餅会] 坂口幸弘 小林 満 佐々田 誠 荒井俊雄 渡辺博  
 [ガチンコ道場] 斎藤 修 のりちゃん 斉藤優文 森田 悟 長谷川 宣  
 新井伴水 伊地知 堀川よういち 白井良弘  
 [富樫釣好会] 今関十九二 (へらウキ「今関作」作者) 野平博志 中村吉一  
 林 敬三 平野繁行  
 [一峰クラブ] 富田信一  
 [クラブKEI-1] 松沢文夫 上野栄二 木村浩重  
 [日研赤坂支部] 西宮 清 西宮志津子  
 [霧舟工房] 川原昭男  
 [キャストイング川越店推薦] 多田久久 小野三幸 山上健太  
 [Bee's Boon] 長谷川文雄  
 [ヘラメイトクラブ] 椎木敦行 菅野大興 香取芳則 池田健二郎  
 香取秀男 石津四郎 村尾隆一 鳥次 稔  
 [Special thanks !] 白石和弘 大石広美 大石 剛 ケンちゃん  
 タッキー 小野野将典 林田辰男 金子浩章 中谷祐三 堀口伸二  
 佐久間正敏 佐久間典様 原田光平 原田典様 白岩克幸 都築  
 沼口邦夫 浜 紀元 内藤伸一 大塚 牧野雅憲 青柳善彦 武田輝由紀  
 長瀬 誠  
 [ナリーズ] 江成公隆(会長) 須崎紀男(副会長) 平山敏郎(幹事長)  
 平山君枝 保科健二 岡田光浩 綿貫正義 中田里史

- 協賛(順不同)
- マルキュー様 様キャスティング様 つり具の大的や様  
 Bees' Boon様 霧舟工房様 水香作様 オールスターズ会長 松澤様  
 HP「Kaki's blog」大家Kaki様 富里乃堰様

第二回ナリーズ杯 in 富里乃堰、99名(惜しい!)の参加者を集めて大成功!  
 当日配られたレジュメと参加メンバー表です。徹夜で作りました(涙)。  
 みなさん、ありがとうございました!

by 里ちん

## 第二回 ナリーズ杯



「1位もどり、ただの人」

●主催 ナリーズへら餅社 ●日時 7月16日祝 ●会場 千歳橋・富里乃堰 ●参加費 3,000円(約代金込み)

●競技方法 総重量 ●賞品 優勝、飛び賞、抽選品

●その他 昼食は各自でご用意なさるか、当日朝、富里乃堰にて昼食弁当をご注文下さい。また、「ナリーズ杯」は手作りのお大会です。何か1品、賞品としてご持参下さると幸いです。もちろん、釣り道具以外でかまいません(強制ではありません!)

●タイムスケジュール(若干の変更はご了承下さい)

5:00~	受付・開会式(事務所内にて)
6:30~15:30	競技
15:30~16:00	抽選
16:00~	閉会式(事務所内にて)

「理論なくて釣果なし」——「ナリーズ」って何?——

幾多の打ち切り危機を乗り越え、今や月刊「へら餅」の名物連載となった「江成公隆トーナメント復活への道」。毎月ページを埋め尽くすおびただしい数の文字…。肝心の「トーナメント復活」の方はまだまだ先のようなのですが、「釣りも投げねえやつが何ノークギでんだ」というクレームに悩まされながら、江成公隆の苦勞が、まずは、思わぬ形として実を結ぶことになりました。それこそ、江成公隆のコッテリ熱い文章に感銘を受けた数人によって突然変異的に誕生した釣りクラブ、「NARIES(ナリーズ)」なのです。

会長はもちろん、江成アネキ。えなりの「なり」としてナリーズ(そのまんまやんげ!) (ちなみに、アネキが敬愛する田辺哲男さんが展開するブランド「NORIES(ノリーズ)」からのバカリ、という響きもあるかないか…。) ロリがあまりに類似しているため、田辺さんも法的な手段を検討しているとかないかと…。

毎日夜更か度で家族のために汗を流らして働き、たまの休日も家族サービスに追われて釣りもままならず、それでもメジャー・ナメント全大会への夢を諦めきれず…。

ならば、少ない釣行回数で「理論」で補えないものか?——

釣りの場中より、釣りが終わった後のファミレスでのノークギ大会に至福の裏を感じてしまう江成公隆の「理論なくて釣果なし」という特異性に共感した普通道、の純粋。それが「ナリーズ」なのです。

「既存の大会だけじゃ満足出来ない!」——「ナリーズ杯」って何?——

ナリーズ例會中によく取り上げられたテーマ、それが「大会は最高に楽しいし、全大会優勝は永遠の目標だけれども、今の大会ってメーカーの縛りがあったり、結果至上主義によって殺伐とした雰囲気があったりすることは否めない。何らかの形で新しい雰囲気の大大会を作れないものだろうか?」というものでした。今回で二回目を迎える「ナリーズ杯」とは、そんな試行錯誤の、ほんの出発点なのです。

優勝目指して釣るもよし、トップ・トーナメントに釣りを教わるもよし、釣りはそこそこに参加者同士で交流を深めるもよし、抽選会で一言一葉するもよし、江成公隆をつかまえてノークギ大会を繰り広げるもよし…。(笑)。今回の大会サブタイトル「1位もどりただの人」には、「参加されたみなさん一人ひとりが主役であるべき」というナリーズ流の思いを込められています。「普通の大大会」すら開催したことのない、完全素人集団による手作りの大会です。で、おそらく不手際もテンコ盛りでしょう。しかしそこは、みなさんの寛大な心でお許し願えれば幸いです。そして、「もっとこうしたら楽しいんじゃない?」というご意見を、ぜひともお聞かせ願いたいのです。その歩みは始まったばかりで、かつ、非常に遅々としたものですが、みなさんの協力によって第三回、第四回と回を重ね、いつかは「第五の新種メジャー・ナメント出現!」と呼ばれるくらいになりたい。「ナリーズ杯」には、実はそんな遠大な「願望」も込められているのです。

…とまあ、難しいことはこれくらいにして、とにかくみなさん、「自分流」で楽しんでください!

by へら餅 里ちん

「もう頭の中で原稿は出来てるんで優勝!」と、吠えた自分もいたことは言うまでもなし。しかし、今現在、原稿にまったく集中出来ない。…と、思ったら、意外に筆は進んでいたりする。あとでポケモン映画にチビ達を連れて行かなければならず、必死なのだ。

7月16日に行われた富里乃堰での第二回ナリーズ杯終了から二日後、僕は職場で入社以来最大級のトラブルに見舞われた。

部下の起こしたケアレミスが、対応の悪さで大クレームに発展。他人事じゃ済まされない立場になってしまったことを、「訴訟も辞さず」と怒りの収まらない客先の事務所での監禁状態(笑)で痛感して参りました。日付が変わる前には解放されたが、翌日以降も処理に追われ、副会長から頼まれていた各方面へのお礼も全く出来ずに今日(締め切り前日)を迎えてしまった。もともと今回はタイトな入稿スケジュールだった。が、ナリーズ杯が無事終わってハイテンションだった僕は、全くプレッシャーには感じていなかったのに、まさかこんな気分が原稿に向かわなければならぬとは想像もしなかった。…あ、思い出した。結局は僕にプレッシャーを与えた二人の呑気なコメントを記しておこう。

☆某幹事長「取材から締め切りまで間がない方がフレッシュな記事を読めるよねえ。楽しみにだなあ」

☆某編集長「今回は大会の模様ってことで、写真のスペースが多めに必要なんで、悔しいッスケド文章短めでいいッス。時間が短い分ちよっどいいッスよね?」







ぶっちぎり優勝の田中雅司さん(中央)は16尺タナ1.1mベレ宙で63枚・40.1kg! 第2位は天笠 充さん(左)。11尺メーター両ウドンで65枚・36.9kg! 第三位は松沢文夫さん(右)。19尺タナ1.5mのベレ宙で、52枚・35.5kg!



99名もの参加者を前に、挨拶する江成会長。緊張してます!



みんなが主役!



本家「ノリーズ」代表、田辺哲男氏も来た!

第一回以上にノリノリだった平山幹事長の司会進行ぶり。ヘタなフロより上手い!



最悪の事態(寝坊)を防ぐため、前夜に富里入りし、爆睡していたアニキ!

ナリーズ、富里乃堰をジャック!



カットビ君こと西澤良純氏と江成が何やら密談? 今こうして江成の連載が読めるのは、ピンチヒッターとして登場してくれた西澤氏のおかげである!



賞品持ち寄り! みなさんに感謝!



閉会式も熱気ムンムン! 女性1位は平山奥様で、罰金勢からはクレームの嵐!



ここはジャパンカップ全国大会か!? あんな人もこんな人も参加してくださったぞ!

釣りの「楽しみ方」は人それぞれ。のんびり一枚ずつでもよし、トーナメント独特の緊張感の中だけに、存在感を味わえる喜びを見出すのもよし。だが、遊びである以上、「楽しく」釣りが出来なければならぬのはどんなアングラーにも共通して言うことであり、他人の楽しみ方に介入する権利もない。様々な楽しみ方がある以上、参加者全員のご要求を満たす釣り大会を開催するのは難しい。

大会は問題なく開催出来ても、前日までの雨で池の水は半分入れ替わったという。釣況の変化は気になる。しかし、ナリーズには「理論なくして釣果なし」とは別に、「徹底的に、純粹に、へら釣りを楽しむ」ところにもテーマがある。もちろん、大半の人はたくさん釣れるに超したことはないだろうが、イチオシの釣りが変わるうが、激シブになるうがバクバクになるうが、どうでもいっちゃどうでもいいことではあるのだ。釣果は結果に過ぎない。

台風4号で開催が危ぶまれた第二回ナリーズ杯in富里だったが、16日はセーフ。翌17日も雨だったことを考えると、とてもラッキーであった。ただ、台風のせいで週末の予定が大幅に狂ってしまった参加予定者も多く、中には残念なことに仕事になってしまった方も多かったと聞いた。が、それでも参加者は99名を数えた(大台に1名足りなかったことも何だかナリーズっぽくてよかった)。今回参加頂いた皆様及びご協賛頂いたスポンサー各社様には、この場を借りて改めて御礼申し上げます。また、今回参加出来なかった方々には、次回は是非参加していただけますようお願い申し上げます。

台風一過、ナリーズみな兄弟!





田辺「あれっ？ 男の約束はどうなったのお？」  
 江成「ココ、ものすごい馬の背なんです。これでもおもいっきりズラしたんです」  
 田辺「なるほど。ウキを下にズラしたんだネ（笑）」  
 パルタン星と地味連合軍に辟易した江成は、「今日は一日底釣り！」という対岸の田辺氏との公約を破り、あっさりとベレ宙へ転向。ピカチュウやら（今年）はじめてのチュウやら、しょーもない駄洒落を連発し、チョーご満悦♡ ちなみに、この日優勝した田中雅司さんは江成のすぐ近く。二人のオヤジギャグ応酬は、周囲を凍り付かせていたという…



膝を真っ赤に焼きながら、誰よりも前に出る江成は、真剣そのもの。ある意味、手前の昨年JCチャンプ石井昇一氏よりも目立っている（構えだけは）。当然、会長らしい挨拶まわりなどは一切ないが、それがナリーズである？



くーみんなの釣りに見入る、ふらっと現れた近所のおじさん？ いえいえ、江成の人気を不動のモノにした傑作「底釣りゼミ」は、氏の協力なくしては有り得なかった。そう、あの北城 錦氏も応援に駆けつけたゾ！

- ①素敵な出会い♡を演出するための、クジ引きによるアテ番制
- ②マジにやりたい人にはニンジン。相場としては高額な部類の優勝賞金
- ③ビギナーでも安心な飛び賞の設定で、ダレ防止
- ④レディファーストの精神♡（男性には恐怖の罰金制）
- ⑤参加者全員が賞品持ち寄りで、一人ひとりの運営参加意識の啓発

書き切れないので？とりあえず5項目並べてみた。が、やはり肝心なのは、ルールよりテーマをキチンと理解してもらうことではないだろうか。

人数とスーパースターの多さに圧倒され、朝の僕の挨拶はヒラリー幹事長のような滑らかさにはほど遠いものだった。なにしろメジャー個人タイトルチャンピオン経験者は、4大メジャー全て揃い、現在のタイトルホルダーも参加。クラブ対抗優勝チームのメンバーも参加。他にも有名人とされる方々は数知れず、小心者の僕がビビらないワケがない。これはもしかすると一般参加の方々にも当てはまることで、アテ番で隣がスーパースターになってしまったら、一日緊張して過ごさなければならぬことになる。そこで僕の挨拶は、朝の受付で配布した大会要綱（里ちゃん作）そのままに「全員が主役」という話を選んだ。たくさん釣る人は、「悔しいけど正直カッコイイ」。でも、「決して偉くはない」。ただの人なのだ。その辺を勘違いしている人が、たく

「一位もどりも、ただの人。」

さん釣る人の中にも、憧れ視線を送る一般アングラーの中にもけっこういる。以前よりは改善されてきていると思いたい、まだまだだと思ふ。一般アングラーは、イコール一般「消費者」なのだ。いわゆるクレマーと呼ばれる人たちのように、客は何をやっても良いという意識は行き過ぎたと思うが、ハッキリ言って、「大先生方より、般ビの方がエライ」のである。僕の目には、この業界が世の中の一般常識とは真逆（まぎやく）近年、すっかり市民権を得た新語。江成もついに白旗に映る。客に向かって威張りちらしたり、客がメーカー関係者にベコベコしたりする光景は、どう考えてもオカシイのだ。

大会趣旨の「一位もどりも、ただの人」というのは、自分が主催しておきながら何だが、かなりブツ飛んでいると思う。

スーパースターの隣でウキウキ出来るなら幸せだが、萎縮してしまつては話にならない。僕はむしろ、一般参加の方々に、彼らスーパースターが次世代のリーダーたる器を持って

**新作!!** 慎重にテストを繰り返した底釣り専用タイプ。【底釣りスタイル】  
 杉山作初的美丽なブラックボディで登場!



繊細な「底」を完全表現する専用タイプ。  
 ●ボディは羽根2枚合わせ5.5mm径。精悍な極薄ブラック塗装仕上げを採用  
 ●ダイシン製ホワイトップ（内径1mm/パイプ）採用。軽量かつ視認性大幅UP!  
 ●サイズ：一番（T11.0cm B9cm カーボン足4.3cm）～六番（T17.5cm B16.5cm カーボン足4.7cm）  
 ワンサイズごとにバランスを突き詰めた設計で、スムーズなナジミと理想的な返しを実現!  
 ●定価1本7,350円（税込）

取り扱い店〈五十音順〉  
 埼玉・越谷 かわけみ（☎048-969-5067） 茨城・下妻 こやの釣具（☎0296-44-1619） 東京・渋谷 サンスイ川釣り館（☎03-3499-5025）  
 埼玉・入間 へらの三水（☎042-964-2093） 栃木・益子 フィッシングハウスほその（☎0285-72-2215） 神奈川・川崎 鮎仙人（☎044-287-7470）  
 東京・吉祥寺 丸勝（☎0422-22-8923） 東京・青梅 吉川釣具店（☎0428-22-2467）

杉山作



いるのが見定めて欲しいくらいだった。今回参加して頂いたスーパースターの中に問題がある人はいない筈だが、そういう目で見える意識が必要だということ。次世代は、カリスマではなく、一般消費者が作るのだ。

…なんて、偉そうにタラタラ並べてみても、何をやれば正しいのかなんて確信は僕にはないし、おそらく誰にも分からないでしょう。

ある友人は、「一回ボクちゃんないと、みんな気づかないじゃない？」と言います。でも、この業界でメシを食ってしまっている彼には、「とにかく動き出さないといけない」というアセリは常にある、ナリース杯にも参加してくれました。読者の中に、そこまでの危機感を感じている人が何人いるでしょうか。「自分は遊びだから、業界が大きくなるのが小さくなるのが別に関係ない」でしょうか？ 老後に手近な釣り場がありますか？ へら鮎釣りから「何か」を買った以上、この楽しい遊びを後世に伝える「義務」はありませんか？ イベント満載の日常の中で流されそうになりながらも、僕は隙を見つけては釣りのことを考えます。江成は諦めません。

選挙もそう。みんなちゃんと行くのかな？ 特定の政党に諦めたなら、キチンと意思表示をしていくべき。どこが政権とつても変わらないと思って、やはり意思表示をすべき。政治を諦めても、日本を諦めたら終わり。国民としての権利も義務も放棄しては、日常のモラルもマナーもへったくれもない。マッドマックスみたいな世の中になる筈はないけど、極論すればそういうこと。そんな時代では、娯楽としての釣りなど有り得ない。将来も引き続きこの楽しい遊びを続けたい・続けてもらいたいと願うなら、選挙にも行くべきなのだ。って、これが読まれる時には、参院選もう終わっているけど…。

### 熱意の付け根「参取り」

最後に、大会後の打ち上げ（定食屋）で、盛り上がった話を紹介したい。ある有名人（以下、先生）と、その有名人に教わっている釣り人（以下、生徒）の話だ。

この発端は、生徒が「もう先生といっしょに釣りに行きたくない」と、知人に漏らしたことであった。行きたくない理由は、先生が厳しすぎて、隣で釣りをしながら萎縮してしまうというものだった。ただ、これには「マンツーマンでコーチを受けたい」生徒側の申し出により始まったレッスンだという前提があり、「教わる姿勢がなってない」という先生擁護派と、「先生の指導力不足」という生徒擁護派に分かれて延々議論は続いた。

先生をよく知る者によれば、「先生は口はうまくないが、中身まで悪い人では決していない。スパルタは、親身になって教えている表れ」という。「真剣に教えているのに、いつまでも同じことを指摘されるような生徒は、先生にやる気がないと思われても仕方がないほどなのに、諦めずに口酸っぱく同じことを繰り返す先生に、むしろ同情」とも。

生徒擁護派の意見は、「先生の話を見目に見てはいても、毎投教えを守るのには難しい。無意識のうちに、自分の釣りに戻ってしまう瞬間が必ずある筈だ。教わる側のレベルに応じた指導が出来ないようでは、指導者の資格はない」というもの。

どっちももっともな意見だと僕は思った。教える側と教わる側の意識のズレは、現代日本では埋めようがないかもしれない。

生徒のレベルに応じたきめ細やかな指導というのには理想だが、学校教育の崩壊を見てわかるように、生徒を甘やかすだけに終わる可

能性もある。

そんな環境で伸びるためには、スパルタ式教育以上に教わる側の素質が問われる。本人のやる気の問題だからだ。むしろ大昔のように、先生にはもっと威厳を持たせ、「教わる分際でその態度はなんだっ！」と、一方的にビシビシやっただ方がいいケースもあるだろう。ついていけない者には厳しい教え方だが、それを乗り越えた者を待つ世界は、ゆとり教育よりハイレベルなんじゃないかと思うし、実は意外と平均レベルも高いような気がする。

ただし、である。釣りは「遊び」。

厳しい修行を乗り越えなければ、生活の糧が得られないという話ではない。まともな大人になれないという話でもない。一人でも人口を増やさなければならぬ待たなしの状況で、貴重な人材を失う可能性がある方法論は却下だ。

よって、僕の意見は、49…51で先生の負け。なんだか、いろいろと考えさせられるナリース杯だった。えっ、アンタも参加して釣りしたんだろうって？ ハイハイ、期待どおり撃沈しましたよ（笑）。



第一回に続き多大なご迷惑をおかけしたにもかかわらず、ナリース杯を温かく見守ってくださった富里乃壇オーナーの壇谷さん。たくさん協賛品も頂きました。心より感謝致します！

赤いリボン賞  
2,500円

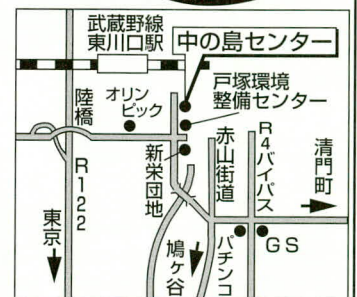
**営業時間** (10月~3月) 平日 午前7時~午後4時 日・祝日 午前6時30分~午後4時  
(4月~9月) 平日 午前6時30分~午後4時30分 日・祝日 午前6時~午後4時30分  
**定休日** 毎週火曜日(祭日の場合 翌日休業) ※第4火曜日と水曜日は連休  
**料金** 1日/2,500円 半日/2,000円

**規定** 自由釣り池(2面)は、タナはウキ止めからオモリまで1m以上 **使用竿** 竿8~15尺 **水深** 3.5m

※ジャンボ室内鯉釣り、金魚釣りも楽しめます。

有限会社 堀 **中の島センター**

埼玉県川口市藤兵衛新田254 ☎048-295-5194 (夜間296-7654)





# 釣番付

## 料金表

50名まで	55,000円
51名～75名	60,000円
76名～100名	65,000円
101名～125名	70,000円
126名～150名	75,000円
151名～175名	80,000円
176名～200名	85,000円

- ・仕上がりは黒一色です
- ・人数は成績表部分のみ数えます

## 書体見本

1. ぐりへの鮎会
2. ぐりへの鮎会
3. ぐりへら鮎会

- ・番付をインターネットで公開できます(無料)

お問い合わせご注文はお早めに!

取扱店: 柴舟 03-3613-2727

## ウキや小物の銘入れに 転写シール

初回注文黒一色、300銘で8,500円～  
2回目以降同じものをご注文の場合  
は3,500円～

- ・8書体、8色を御用意しています
- ・角印も作れます

## 取扱店:

柴舟(東京都江戸川区)

03-3613-2727

佐伯釣具店(神奈川県川崎市)

044-911-3722

SANSUI川づり館(東京都渋谷区)

03-3499-5025

フィッシング中原(神奈川県川崎市)

044-711-8266

鮎仙人(神奈川県川崎市)

044-287-7470

お問い合わせ、ご注文は各取扱店  
または下記HPまでどうぞ

office27  
あとりえぐり

http://www.office27.com  
E-mail: info@office27.com

田辺「うわ～コレは凄いな～(苦笑)」  
江成「すっすみません!!」  
田辺「いいよいよ! インディーズに模倣されてこそ、一流っていうかサ! 本家もさらに認知されていくってことでネ」  
江成「ありがとうございます!」  
田辺「ただコレは自分一人だけの問題ではないんでね、あんまり大っぴらにやると会社が出てきてややこしい話になるから…気を付けてネ!」  
江成「了解しましたっ! さっそく増刷の手配をば!」  
田辺「…おおい(怒)…」



「ナリーズ」ステッカーに驚く  
本家「ナリーズ」田辺さん:



「こ、これはヤバイでしょ!」

本誌外部スタッフであり、この日もカメラマンとして駆け付けてくださった加賀三義氏であったが、某国並の海賊行為「ナリーズステッカー」には、業界人として仰天せざるをえなかった。  
「こ…これはっ、まさにコワイもの知らずの素人衆の成せる業だっ!!」 by Kaga

とんでもなく失礼でビジョーシキな江成に偽物ステッカーへのサインを求められ、快く応じる「世界の田辺」。デカいぜ…



「モノ」…「サイン」してくださる

## ～伝説の作り方～

帰り道の定食屋で、僕は田辺哲男氏に聞いた。

「田辺さんのバス釣りでの無敵時代っていうのは、他のライバル達との決定的な違いは何だったんですか?」

氏は、「パターンフィッシング」という用語を取り出し、僕に分かりやすく説明してくれた。そして、その名付け親も田辺氏本人であると教えてくれた。

「つまりね、誰も知らない方程式を見つけちゃったんだよ。そりゃ勝ちまくれるよネ(笑)」それが謙遜であり、血の滲むような努力の末に編み出した究極の方程式だということは、いくら鈍い僕でも分かる。

「田辺さんの無敵時代はどのくらい続いたんですか?」

大ファンとか何とか言いながら、そんなことも知らない、なんちゃってな僕の失礼な質問に、嫌な顔一つせずに、氏はこう答えた。

「1年もったかな～くらいのもんだよ。情報はすぐオープンにしちゃったしね。みんなが完全にモノにするまでの間だけだよ、いい思いが出来たのは…ネ(笑)」

カッコイイぜ～!! 目先の利益を追って情報を秘匿せず、オープンにすることで生きながら伝説になった男。ソナナヒトニ、ワタシモナリタイ。

田辺氏と僕には裏話がある。僕が10代のころ、ちょっとバス釣りに浮気した時期があった。へらから完全に遠ざかっていた高校時代も、バス釣りだけはたまにやっていたから、友人宅でよくバスの専門誌を読んだ。BasserとかTackle Boxとか。そんなに真剣に取り組んではいなかったから、あんまりよく読んでいないのだけれど、誌上で攻め方の通信講座をしようというぶっ飛んだ企画があったことだけは強烈に記憶に残っている。正直言って、当時ビギナーだった僕には難しすぎたが、「釣りって考えながらやるもんなんだな」という認識を初めて植え付けられたのが、当時のその企画だった。…やがて僕は田辺氏と出会う。今から4年前のことだ。そしてほんの雑談の中で、この話をした。すると、「それはオレの企画だよ。『田辺道場』っていったね」

そうだ! たしかにタイトルは「田辺道場」だった(今思えば、氏の言うパターンフィッシングを全面に展開していたに違いない)。強烈なフラッシュバック! その瞬間、スーパースターと自分を、運命で勝手に紐付け完了♡ 今日から「なまか」じゃ～!

「田辺さん、お忙しい中、本当に来てくださって感激でした!」 by 江成



へら鮎釣りの楽しさを追究し続ける...

No.501  
Sep.2007

9

# へら鮎

九月  
鮎

Monthly fishing magazine herabuna

## ニッポンには、へら鮎釣りがある！



特集

# 杉山達也 新潟

天才splasher、新潟ひょうたん池に現る。  
そして、超高速メーター両ダンゴ炸裂...!  
新潟が生んだ超新星、  
2007バリバズ杯チャンプ・坂井与史との共演で贈る、  
怒濤の超豪華特集!!



# 「ペレ道」が支える、 熊谷充のペレ宙!!

夏場に、ダントツの釣果が狙えるペレ宙の釣り。  
熊谷充は、短竿の浅ダナやチョーチン、  
あるいは、長めの竿での1mでも、まったく同じエサからスタートする。  
そのエサの内容と使い方について、熊谷に訊いた。

**これが、ペレ宙の基本となるエサ。**

集魚力と重さの「ペレ道」200cc+  
水200cc+

開きを促す「白べら」200cc+

エサ持ちを高める「浅ダナー一本」200cc+

特性の異なるエサ同士をつなぐ「軽麩」200cc

ベースは、魚を寄せる力と、素早くエサをタナまで運ぶ重さを兼ね備えた「ペレ道」。このエサは水分を吸いやすいため、基エサに追い足していくことができ、比較的手直しがしやすい。

さらに熊谷は、開きを促す素材として「白べら」、エサ持ちを高める素材として「浅ダナー一本」、特性の異なるエサ同士をつなぐための素材として「軽麩」も使用。すべてのペレ宙を、このエサで釣り始める。どの釣り方でいくかを決めるのは、釣り場に着き、最近の釣果や、混み具合、他の人の竿の長さなどを見てからだという。

さらに詳しい情報は  
マルキューホームページ内  
「へら鮎天国」で  
近日公開!!



**丸マルキュー株式会社**  
〒363-8509 埼玉県桶川市赤堀2-4-1

お問い合わせ 本社・桶川工場:048-728-0909 大阪支店:072-824-0909  
名古屋 四国営業所:0877-44-0909 九州営業所:0942-82-0909  
ホームページアドレス <http://www.marukyu.com/>

釣り場でエサに困ったら  
Eメール・ホームページ  
<http://www.marukyu.com/>

マルキューホームページ内の「へら鮎天国」では、新鮮な釣果情報を掲載中。あなたのお気に入りの釣り場の情報が、見つかるかも。  
<http://www.marukyu.com/> マルキューへら鮎メールマガジンも、お申込はこちらから。

釣れるヒント満載!!  
**へら鮎天国**

